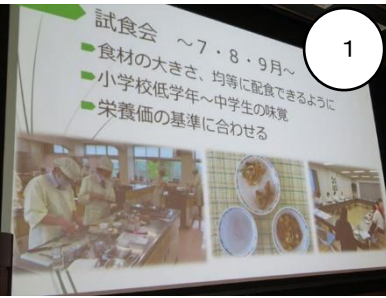
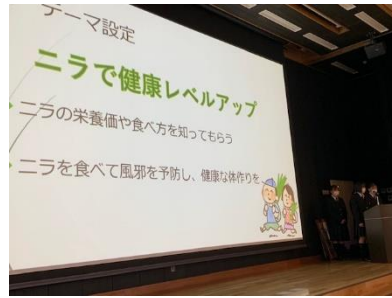


1月25日生活科学科3年課題研究発表会が教育研修所さくらホールをお借りして開催されました。生活科学科の1、2年生と保護者(20名ほど)が見守る中、3年間の集大成となる会です。例年なら保護者にも松花堂弁当を食べていただくなど感謝の意を尽くした会になる予定でしたが、昨年同様発表を見ていただくだけとなりました。しかしながら会場は教育研修所のさくらホールという素晴らしい発表の場を用意できましたので、参加者全員が楽しむことができましたように思います。



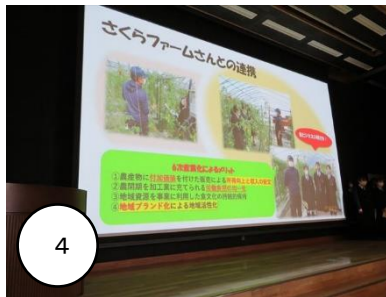
1



2



3



4



5



6



たちの手で～」で、これは3学科合同発表会で発表された内容と同じものです。SDG'sを意識してもち麦の茎

でストロー製作や株式会社マルヤナギ小倉屋さんとの連携で商品開発した「スープで食べるもち麦和だしカレー」など近畿経済産業局長賞を受賞した班の発表でした。最後7番目は「かとう憩いの森体験バスツアー～



故郷以外に帰りたい風景を持っていますか? ～」です。こちら3学科合同発表会で発表された内容ですが、加東市と言えば〇〇という特産品や名所についてもっとPRが必要であることを強調していました。ツアー企画も家族旅行をターゲットに自然体験を交えながら、さらには地域の食材を活用しLPRLながらの企画

画でしたので、もっと広範囲に広報していくことが求められていると思います。今後も継続してツアー企画に後輩たちが取り組んでくれることでしょう。

すべての発表が終わり、家庭クラブ代表の大西さんの挨拶は、涙ながらの後輩へのメッセージとなり、思ったような実習や活動ができなかったことの残念な気持ちとそれでも3年間できる事はやってきた達成感から思いがこみ上げてきたのだと思いました。安好先生が保護者に向けて、「学校でできない分、家庭での活動も増え、保護者に協力いただいた事への感謝とそのことで技術的には大きく伸びて生徒が成長した」という話をされたときには学校だけで工夫してきたわけではなく、生徒、保護者一体となつての教育活動だったということに改めて気づかされました。地域、地元企業、事業所を巻き込んでの研究は今後も続いていきますが、生活科学科ならではの今後の発展にも期待したいと思います。皆さんお疲れ様でした。26日は3年生は校外実習で「井づつや」に行き、特別非常勤講師の井上料理長の料理を味わってきたようです。

さて、1月も最終週に入りましたが、新型コロナ新規感染者はさらに増え続けている状況です。近隣の小中学校でも休校や学級閉鎖、学年閉鎖が出ており、ご家庭でも心配されていることと思います。感染力の強さは今まで以上ではありますが、私たちにできる事はマスク着用、密を避ける、マスクを外す際の行動など基本的なことしかありません。感染の多くはマスクをはずした食事の場面での会話とも言われています。今一度生活様式を見直し、感染防止に努めましょう。よろしくお祈りします。

※お知らせです。令和元年度に東京オリンピック・パラリンピック講演会で本校に講演に来ていただいた岡本圭司さんが、北京パラリンピック日本代表に選ばれたそうです。27日朝連絡がありました。大きな事故によるケガを乗り越えての出場に敬意を表しますとともに健闘をお祈りしたいと思います。